

令和7年度 帯広市立帯広小学校 学校便り

# 帯小の窓

通いがい、通わせがいある学校、今日もおもしろかったな

## ～ 学校教育目標 ～

- よく考え、意欲的に学ぶ子
- 命を大切に、たくましくやりぬく子
- 豊かな心を持ち、協力し合う子
- 勤労の大切さを知り、すすんで働く子

NO. 36 令和8年2月6日 発行

校長 黒島 俊一

## 白鳥の知恵と姿に学ぶ

連日マイナス10度を下回る朝の最低気温が続いています。振り返りますとこの冬は、12月の50センチを超える大雪から、その後まとまった降雪はないまま、暦の上では「大寒」(1月20日から2月3日)が過ぎました。しかし、少しずつ昼間の日差しが暖かく感じさせられますが、まだまだ厳しい寒さは続きそうです。

こうした中、学校でのスケートシーズンが終了いたしました。今年はお陰様で、できなかった昨年分を取り返すくらい、思いっきりたくさん滑ることができました。サポーターの保護者の皆さんをはじめ用具準備、支度等ご配慮、ご協力いただき、感謝申し上げます。



スピードスケートオリンピック石澤志穂さん(帯広大谷短大助教で管理栄養士)が夏に引き続き、全校のスケート指導に来て下さいました。模範滑走の美しく華麗なフォームとスケーティングに魅了。

大雪で臨時休校となった12月14日の翌日15日。いつものように朝の見守りに行く途中、20羽からの白鳥の編隊が、南の空へ鳴き声をあげながら大空を渡っていく場面に出くわしました。その美しさに、しばし見入っていたのです。

この白鳥は、昼間は太陽、夜は星座を目安に、曇っているときは地球の磁気を頼りに飛んでいるといわれ、基本的に群れで移動し、真ん中の鳥が先頭となって両側に広がり、V字型になって飛ぶということです。先頭の鳥が飛んでできる風の流れを、後に続く鳥が活かし、その風に乗って飛ぶためと言われています。長い距離を少しでも疲れずに飛ぶ鳥たちの知恵です。疲労を分配するあたりは、スピードスケートの団体パシュート競技にも似ているところもあります。

(今日から、ミラノ・コルティナ2026オリンピックが始まりましたね。)

白鳥の話をもう一つ。先日、群れから離れた一羽の白鳥が、学校前のウツベツ川に「浮かんでる」姿を見かけました。十勝川の河畔などでは冬場に群れとなって優雅に「浮かんでいる」姿を見かけますが、注目したいのは、白鳥がその目に見えない水面の下で、両足を常に回し、必死に沈まないようにもがき続けているということです。つまり「浮かんでいる」のではなく「泳いでいる」ということです。

思い出したのは、昔、アニメ「巨人の星」の中で(ちょっと古いですが)、主人公「星飛雄馬」(ほし ひゅうま)に対し、ライバルの「花形 満」(はながた みつる)が、「努力は見せず、見えないところで信じられない努力をしている。白鳥とはそういうものだよ、星君!」と話す場面があって、今でもその場面を覚えています。白鳥がみせる「見た目はスマート」、「人知れず努力する姿」は、人としての生き方や美意識にもつながるものです。

2月に入りました。「1月いく、2月にげる、3月さる」とはよく言いますが、学年末、また新年度新学年に向けて、一人一人の頑張りを見取り、励まし、結果につながるよう指導と後押しに努めて参ります。お子さんはもとより、ご家族の健康管理にもご留意され、2月もよろしくお祈りします。

## 帯広市小中学校書道展

1月28日  
～2月3日  
とちプラザ  
アトリウム

今年も市内全小中学校の子供たちの代表作品が、会場に勢揃いしました。本校からもしっかり書き込んだ力作がたくさん飾られました。



## 素晴らしい作品の数々でした。

学校代表出品者16名(敬称略 3年O数字はクラス名)

- |     |       |       |       |       |
|-----|-------|-------|-------|-------|
| 3年① | 柳田 侑大 | 先崎 羽瑠 |       |       |
| 3年② | 西部 紗蘭 | 村瀬 維知 |       |       |
| 4年  | 有川 綺奈 | 堀井 結桜 | 右近 はな | 矢部 愛華 |
| 5年  | 久津輪海乃 | 田中 璃空 | 可児義太郎 | 山内 玲人 |
| 6年  | 長尾 新和 | 堀井 佑奈 | 高橋あさひ | 渡邊 紅巴 |

## おびひろ氷まつり 花を添えるのはやっぱりこれ

1月30日～2月1日までの3日間、今年もおびひろ氷まつりが緑ヶ丘公園で開催されました。さかのぼること平成2年から（36年前です）、帯広市では、生活科の学習の一環で、低学年が一人一人洗面器をつかって「氷のお面」を作り、会場に並べ、毎年祭りに花を添えています。全小学校の子供たちの作品が一堂に並べられると壮観です。

今年はまだ氷の彫刻の全国大会も兼ねていたとのこと。素晴らしい作品が会場へのアプローチにたくさん設置され、いつもより華やかな様子も感じられました。私も子供たちと一緒に貸し切りバスに揺られて会場に向かいましたが、ちょっとわくわくする搬入時間も、作品を割ってしまったりする子もなく、立派に創り上げた作品を、きちんと並べてくることができました。これは決して簡単なことではありません。恥ずかしながら、私の担任教諭時代にはいくつも「お面」を割らせてしまって、子供に悲しい思いをさせてしまったことを思い出します。学年末のこの時期に、1、2年生とも、調整力と危なさを想定した判断力が育っている様子を感じさせられる一コマでもありました。

(写真下 展示された1、2年生の氷のお面から)



### 帯広小の教育の一コマから



(写真左上) **6年「薬物乱用防止教室」**から。帯広警察署少年係の警察官を講師に、薬物の怖さと身の守り方を自分事で学びました。

(写真右上) **スクールコラボ事業「理科実験教室」**から。教育大釧路の境教授（プラス学生2名）が来校され、4、6年生におもしろ理科実験授業を展開。液体窒素をつかった実験には大きな歓声が上がリ、科学のおもしろさにくい引きつけられていました。



### 残すスケート学習は 明治北海道十勝オーバル 体験滑走 です

「楽メ」でもお知らせの通り、学校スケートリンクでの学習は終了しました。残るは来週13日（金）午前中に行われる「オーバル」での体験滑走です。日本に3つしかない、世界屈指の高速屋内リンクを楽しみましょう。3年に1回しか体験できない、貴重な機会です。ご家庭でもご都合が付きましたら、足をお運び下さい。

<第62回帯広市児童スケート選手権大会> (写真左、左から) 仲良くスケーティング

- ・ オープン男女100メートル 41秒70 4年 有川 綺奈 さん
- ・ オープン女子250メートル 49秒23 2年 若狭 光咲 さん
- ・ オープン女子100メートル 32秒01 4年 宮下 茉莉 さん

<公益財団法人日本習字教育財団 第28回日本習字展> 入選繰り返しています。

- ・ 入選 2年 小杉 百望 さん (写真右)

帯広小の  
今日のきらきらさん